

# 湖沼におけるコクチバスの効果的駆除技術

福島県内水面水産試験場 調査部  
平成18年度福島内水試事業報告  
分類コード 19-08-22650000

部門名 水産業－内水面(増養殖)－内水面漁業 その他魚種  
担当者 佐久間 徹

## I 新技術の解説

### 1 要旨

- (1) ブラックバス類はその繁殖力の強さから、侵入した水域で個体数を増加させ、在来の魚類等を捕食し、漁業に悪影響を与えている。  
そこで、ブラックバス類の駆除をより効果的に行えるように、これまでに得た知見をまとめ、平成15年度に「ブラックバス駆除マニュアル」を作成した。
- (2) マニュアルの主な内容は、①繁殖期に産卵床を探索し、卵を保護する雄を捕獲して再生産をさせない繁殖抑制と、②刺し網による効果的な駆除方法である。マニュアルの実証のため、羽鳥湖をモデル水域として天栄村、南会東部漁協によるコクチバス駆除事業が平成16年度より開始され、駆除効果を検証するとともに技術改良を実施した。
- (3) 3年間の駆除の結果、①の繁殖抑制では延べ598ヶ所の産卵床を確認し、408尾の雄親魚を捕獲した。駆除を進めると雄親魚が小型化したため、小型三枚網の目合いを小さくする改良により、捕獲率が向上した。  
また、コンクリートブロックを置いて人工産卵場を造成し、そこへ産卵させて駆除に利用することが可能であることが実証された(表1、図1、2)。
- (4) ②の刺し網駆除では、延べ1,302尾のコクチバスを捕獲した。刺し網の設置を昼間にすることで他魚種の混獲率を低減でき、9、10月の秋期に集中的に駆除を実施することで高い漁獲効率が得られることが実証された。3年目には、全長30cm以上の大型個体及び、全長20cm未満の小型個体が減少する傾向がみられた(表2、図3、4)。

### 2 期待される効果

春の繁殖抑制と秋の刺し網駆除をあわせて実施することにより、効果的な駆除が可能である。

### 3 適用範囲

内水面漁協、市町村

### 4 普及上の留意点

湖沼においては短期間での根絶は困難であり、駆除を継続する必要がある。

## II 具体的データ等

表1 羽鳥湖コクチバス繁殖抑制

年度	作業期間	回数 (回)	水温(°C)		産卵床 確認数	雄親魚捕獲 尾数(尾)	捕獲率 (%)	雄親魚全長(cm) 平均(範囲)
			開始時	終了時				
16	5/24~6/14	9	16.2	19.8	258	153	59.3	28.3 (18.7~41.3)
17	5/24~6/13	9	13.7	20.4	168	118	70.2	28.3 (18.5~43.0)
18	5/26~6/16	8	16.7	16.1	172	137	79.7	25.9 (18.0~43.5)

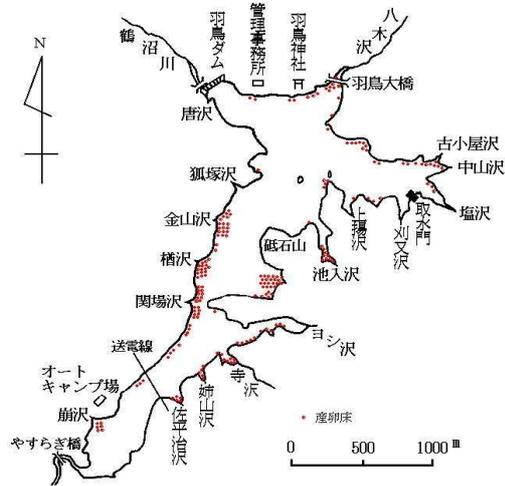


図1 産卵床形成場所の模式図

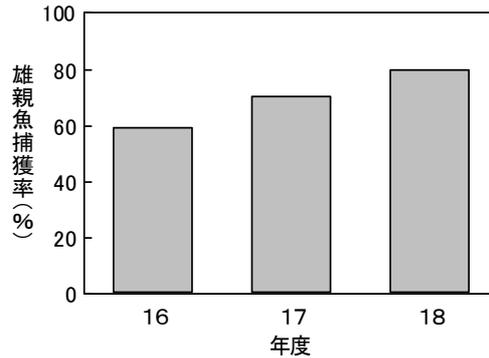


図2 雄親魚の捕獲率

表2 羽鳥湖コクチバス刺し網駆除

年度	時期	回数 (回)	捕獲尾数 (尾)	全長(cm)		性比 雌(%)	混獲率 (%)
				平均	標準偏差		
16年	6~9月	15	431	24.6	±6.2	56.1	24.6
17年	9,10月	15	465	23.4	±3.5	60.5	7.7
18年	9,10月	15	406	23.9	±2.7	50.9	26.4

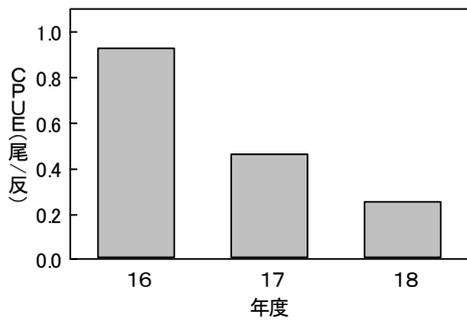


図3 全長30cm以上のコクチバスの刺し網1反あたり捕獲尾数

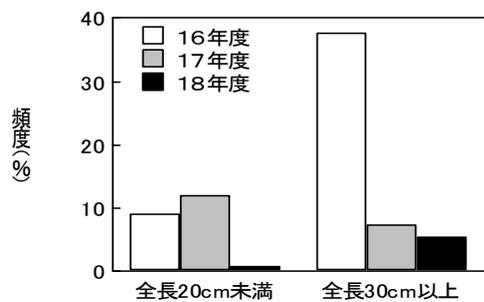


図4 刺し網捕獲魚の小型、大型個体出現頻度

## III その他

### 1 執筆者

佐久間 徹

### 2 主な参考文献・資料

- (1)コクチバスの繁殖生態と人工産卵場を利用した繁殖抑制. 福島内水試研報. 6. 37-48(2005)
- (2)ブラックバス駆除マニュアル. 福島県.(平成15年度)